

準用河川恩曾川洪水浸水想定区域図 (計画規模)1時間最大雨量50mm ①

1 概要

計画規模の降雨があった場合の洪水浸水想定区域を表示した図面です。

洪水浸水想定区域図とは、河川が氾濫した場合に、皆様の地域でどの範囲がどれだけ浸水する恐れがあるのかを示した図です。

計画規模とは、現在、河川整備を進めている規模で、河川整備の目標とする降雨量として、おおむね5年以内に一度発生する降雨、1時間の最大雨量50mm(計画規模)が降ることを想定しております。

浸水深とは、浸水域の地面から水面までの高さをいいます。

2 基本事項

(1)作成 平成29年5月

(2)対象となる河川 準用河川恩曾川 上流端:市道川との合流点 下流端:玉川との合流点



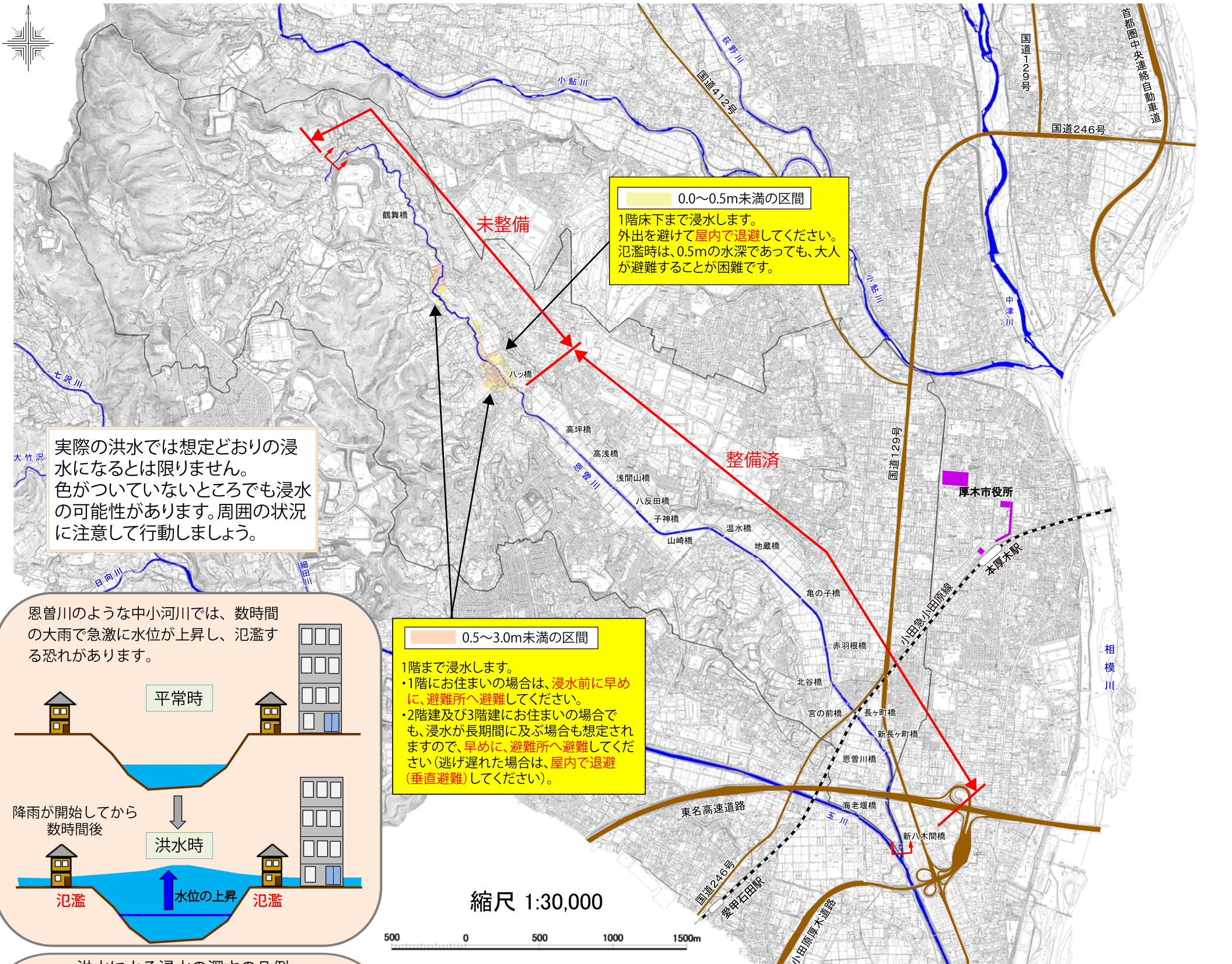
凡例

浸水した場合に予想される水深(ランク別)

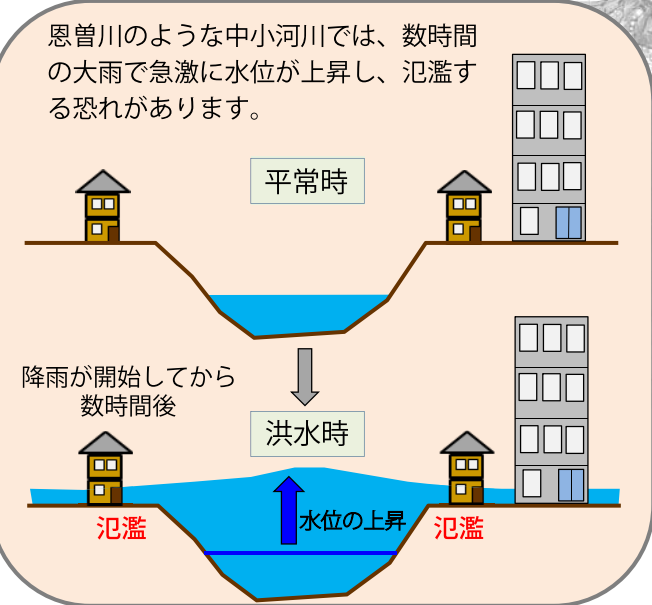
0.0~0.5m未満の区間
0.5~3.0m未満の区間
3.0~5.0m未満の区間
5.0~10.0m未満の区間
準用河川区間
流域界

凡例

大規模地下施設



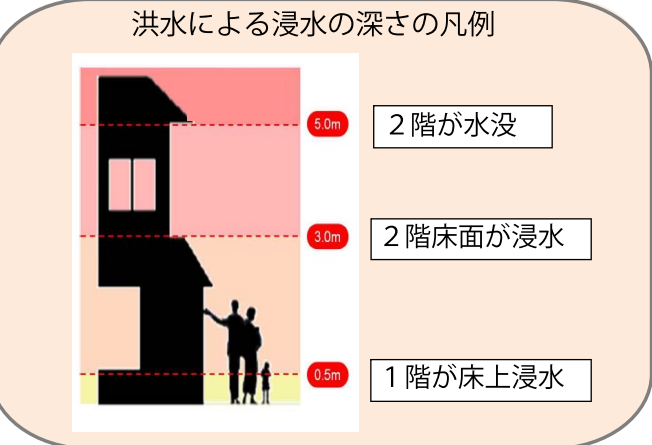
実際の洪水では想定どおりの浸水になるとは限りません。色がついていないところでも浸水の可能性があります。周囲の状況に注意して行動しましょう。



0.5~3.0m未満の区間

1階まで浸水します。

- 1階にお住まいの場合は、**浸水前に早めに、避難所へ避難してください。**
- 2階建及び3階建にお住まいの場合でも、浸水が長期間に及ぶ場合も想定されますので、**早めに、避難所へ避難してください(逃げ遅れた場合は、屋内で退避(垂直避難)してください。)**



1時間の最大雨量50mmの計画規模で整備済みの地図記載の区間については浸水しませんが、整備が済んでいない飯山地内八ッ橋上流付近において、浸水する想定となりました。今後は、浸水を解消するため、計画規模の整備が済んでいない区間について、沿川の皆様の協力を得ながら整備を進めます。

気象情報や周りの状況などに注意して、浸水する前に早めに行動してください。浸水した後の避難は大変危険です。ご自宅の造り(木造・非木造)やお住まいの階数、ご自宅の位置と浸水の程度を確認して行動してください。

ご自分の地域やご自宅付近で、どの程度の浸水になるか、この洪水浸水想定区域図で確認してください。